

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和 6 年 8 月 19 日

施設名	障害者スポーツセンター	所管課室	スポーツ課
-----	-------------	------	-------

1 施設の概要

指定管理者名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日		
施設所在地	高知県高知市春野町内ノ谷1ー1					
事業内容	(1)設置目的 障害者のスポーツの振興及び社会参加の促進を図ることを目的として、平成8年4月に設置 (2)事業内容 - 施設の運営に関すること - 施設使用料の収入事務に関すること - 施設及び設備の維持管理に関すること - 障害者スポーツ事業に関すること 【令和5年度の主な大会・教室等ソフト事業】 県障害者スポーツ大会、駅伝大会、バトミントン大会、障害者スポーツ体験教室、ワンポイントスキルアップ教室、初心者スポーツ教室(水泳、フットサル、ダンス、テニス、ウォーキング、けん玉)、アウトドア教室(ヨット、カヌー)、健康づくり教室ほか					
施設内容	①管理棟 鉄筋コンクリート2階建 延床面積 854.66㎡					
	区 分		面積	使用料（1時間につき） AM9-PM5PM5-PM9	使用目的等	
	1階	ブレイルーム	86.00㎡	80<40> 円110<50>円		重度障害者の軽運動等
		医務室	22.05㎡	—	—	怪我の応急処置、体調不良者の静養等
		その他		—	—	事務室、シャワー室、ロビー、トイレ等
	2階	研修室	96.07㎡	530<440>	770<660>	研修会、講演会、説明会等
		卓球室	97.85㎡	160<110>	220<160>	卓球台2台
		盲人卓球室	45.65㎡	160<110>	220<160>	盲人卓球台1台
		その他		—	—	休憩兼相談室、トイレ等
	②屋外施設					
区 分		使用料（1時間につき） AM9-PM5PM5-PM9		施設概要等		
テニスコート	1面利用	440<220>	660<310>		全天候型コート1面	
	壁打ちのみ	110<50>	160<110>	練習用壁打ちコート半面		
アーチェリー場	1人	110<50>	160<110>	30m 標的数3		
グラウンド	専用利用	440<220>		グラウンドソフトボール、ゲートボール、跳躍、投てき等		
	個人利用	110<50>				
直走路	専用利用	440<220>		全天候型 110m 4コース		
	個人利用	110<50>				
プール	1人	無 料		屋外25m 5コース		
③体育館 1277.22㎡						
区 分		使用料（1時間につき） AM9-PM5PM5-PM9		施設概要等		
体育館	専用利用	全面利用	1,150<580>1,360<680>		アリーナ、談話室、事務室、男女更衣室、家族更衣室、多目的トイレ(オストメイト対応)、車イス倉庫等	
		半面利用	580<290>680<350>			
	個人利用		120<60>140<70>			
体育館アリーナの冷暖房設備		全面	1,1501,150			
		半面	580580			
備考：使用料の< >内は、18歳未満の者又は高校生等(これらの者が半数以上の団体を含む)が利用する場合に適用 6歳以下の者(小学生等を除く)、障害者又は障害者関係団体が利用する場合は、使用料免除 ○開館時間：火～土 9:00～21:00日・休日 9:00～17:00(グラウンド、直走路は火～土も 9:00～17:00) ○休館日：月曜日休日の翌日12月29日～1月4日						
職員体制	常勤職員:6 人 非常勤職員:1 人 臨時職員:2人 合計:9人					

2 収支の状況

単位:千円

		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
収 入	県支出金	64,284	65,516	64,919
	使用料・手数料	382	494	1,026
	その他	521	1,795	2,580
	収入計 (a)	65,187	67,805	68,525
【別掲】 県歳入(使用料)		951	848	944
支 出	事業費	5,494	7,365	9,202
	管理運営費	21,533	20,890	19,054
	人件費	38,160	39,550	40,269
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	65,187	67,805	68,525
収支差額 (a)-(b)		0	0	0

3 利用状況

	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	33,123 人	33,099 人	35,000人
②利用者意見等の反映	○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) ・体育館内の談話室に意見箱を設置して、回答を掲示板に掲載している。 (通年・意見箱設置)回答数0件 ・利用者意見交換会を令和6年1月に開催。		
	○利用者から意見等があった場合の対応 ・改善策等を職員間で情報共有するとともに、対応結果をセンターの掲示板などに掲示し利用者に広く周知している。 ・各教室開催後は、事業記録を作成し、反省点などの自己点検を行い改善策等についてミーティング時に他の職員にも周知している。 (出された意見への対応例) ・備品の充実化をすすめてほしい。 →アーチェリー完成弦18本等購入、自転車ヘルメット3個購入。 →タンデム自転車2台、フレームランナー1台、ビクトリーランプ2台を新規に整備、【JPSA委託事業】		
	○その他		
③その他特記事項			

4 令和5年度業務評価

項 目		状 況 説 明
①適正な管理運営の確保		・法令・事業計画書・協定書(仕様書)等の内容を遵守し、適正な管理運営が行われている。 ・施設内で事故が発生した場合は、ヒヤリハット報告、事故報告書を作成し、原因分析、改善策を記載し職員に周知をしている。 ・職員が毎月1回の施設点検を実施し、施設チェックシートを作成している。 ・利用者の障害程度等が入った個人情報(統計データ)は外部につながっていないパソコンで管理しており、個人情報書類は書庫で適正に保管するとともに、廃棄する場合はシュレッダーを利用している。 ・修繕等が必要な場合、迅速な対応を行うとともに、必要に応じて修繕箇所、時期等について県と協議を実施している。
②利用者サービスの維持 向上		・各種教室等の事業記録を作成し、反省事項、連絡事項を記載して職員に周知している。 ・利用者の満足度を把握するために、教室等を抽出してアンケート調査を行い、その結果を基に、参加者の枠を広げるなどの対応を実施している。 ・障害者の利用に関しては60日前からの予約、その他の者に関しては30日前からの予約とし、障害者の優先利用を徹底している。また、特定の団体に利用が偏らないよう団体間の調整を行っている。 ・広報誌を年4回発行し、ホームページ、管理棟ロビーに行事予定表やポスター掲示、利用カレンダーの配布など、各種行事を積極的に広報・PRしている。
③利用実績		○令和4年度利用者数:33,123人 ○令和5年度利用者数:33,099人(対前年比0.1%減)
④収支の状況		○収入について ・令和4年度収入(施設使用料):951千円 - 令和5年度収入(施設使用料):848千円(対前年比10.9%減) ○支出経費について ・令和4年度支出:65,187千円 - 令和5年度支出:67,805千円(対前年比4.0%増)
総合評価		・総合型地域スポーツクラブをはじめとした各種団体との連携を図り、障害者スポーツの普及拡大に努めている。 ・日本パラスポーツ協会の指導員育成研修などに職員を派遣し、スポーツだけでなく障害の理解を深める研修を受け、今後の事業に活かすようにしている。
B		

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの